

令和2年5月26日

三重県議会議長 日沖正信 様

会派名 草の根運動いが
会派代表者 稲森稔尚
質問者 稲森稔尚



文書質問書

三重県議会基本条例第14条の2の規定に基づき、次の通り文書による質問を提出いたします。

1 質問項目及び内容

新型コロナ後の未来像を見据えた県政運営について

- (1) 新型コロナウイルス感染症に伴って、浮き彫りになったこれまでの県政運営の課題についてどのように認識しているか。また、新型コロナが終息した先の県政運営において、これまでの政策の転換または強化も含めてどのような未来像を見据えているのかそれぞれ具体的に示されたい。
- (2) 「みえ県民カビジョン第三次行動計画」は「コロナ前」に策定された計画であるため、政策体系、数値目標をはじめ「コロナ後」を見据えた政策の転換または強化が求められる分野も散見されるところであるが、計画の見直しに着手する必要性について認識を伺う。
- (3) 令和2年度予算における不要不急の事業の見直しに向けた基本的な考え方を伺うとともに、これまでに各部局において見直しを行った事業内容と予算額を伺う。

2 質問の趣旨および理由

新型コロナウイルス感染症に伴って、感染症対策を含めた医療・保健体制、緊急事態を想定した持続可能な財政運営、スマート改革をはじめとする行政サービス・働き方・教育環境の見直し、さらには大都市一極集中の危険性、地域循環型経済の優位性等、これまでの県政運営においても様々な課題が浮き彫りになったと思われる。その上で、新型コロナの影響に対応するための当面の対策にとどまらず、新たな未来像を見据えた県政運営が必要であると考え質問する。

3 回答を求める者 知事

